

催事開催のお知らせ

公設商業施設「ひろのてらす」では、生活必需品などの即売会を次のとおり開催します。

- ・取扱い商品などの詳細は、別途お知らせします。
- ・プレミアム付事業再開・帰還促進券（プレミアム付ひろの商品券）が使えます。

- と き
平成30年10月20日（土）午前10時～午後5時
平成30年10月21日（日）午前10時～午後3時

- ところ 広野町中央体育館
- 問 復興企画課 ☎0240-27-1251（直通）
FAX0240-27-2212
- 産業振興課 ☎0240-27-4163（直通）
FAX0240-27-4539

テレビに関する無償支援について

地上デジタル放送の映りが悪くてお困りの方は、「デジサポ福島」の無償支援を受けることができます。お気軽に相談受付ダイヤルまでご連絡ください。

- [相談事例]
- テレビが映らない。映りが悪い。
 - 特定の放送局が映らない。季節によってテレビの映りが悪くなる。
 - 帰還してみたらアンテナが壊れたり劣化している。

- [支援事例]
- アンテナやケーブル、ブースターなどの点検
 - 壊れた(劣化した)アンテナ、ケーブル、ブースターなどの改修
 - 個別アンテナの新設工事
 - 共同アンテナの新設・加入工事

- [支援条件]
- 東日本震災時に原発避難区域にお住いだった方（被災証明・罹災証明）
 - NHK放送受信契約者、または今後受信契約を結ばれる方
※支援の対象は地上デジタル放送のみです。BS・CS放送は対象になりません。
- 問 デジサポ福島（総務省 福島原発避難区域テレビ受信者支援センター）
☎0570-007-401
（IP電話・PHSからは024-525-8220）
受付時間 午前9時～午後6時
（土日祝日・年末年始休日を除く）
〒960-8031
福島市栄町10-21 福島栄町ビル7階
Webサイト
<https://www.digisuppo-fukushima.jp/>

「全国一斉！法務局休日相談所」開設のお知らせ

法務局では、地域住民の方々から日常生活での様々な心配ごと、困りごとの相談をお受けし、行政サービスの一層の向上を図ることを目的として「全国一斉！法務局休日相談所」を開設します。相談は予約制となります。

- 日 時
平成30年10月7日（日）午前10時から午後4時
- 場 所
(1) 福島地区
「福島地方務局」
福島市霞町1番46号（福島合同庁舎）
(2) いわき地区
「福島地方務局いわき支局」
（いわき地方合同庁舎）
いわき市平字堂根町4番地11

- 内 容
不動産・商業登記の手續、土地の境界問題（含む筆界特定）、遺産相続、地代・家賃などの供託、戸籍・国籍の問題、夫婦・家庭内の問題、成年後見、公証に関すること、お年寄り・子どもの虐待、いじめ・体罰問題、セクシャル・ハラスメント、障害者の差別問題、風評被害による人権問題など
*無料で、秘密は守られます。
- 担当者
法務局職員、司法書士、土地家屋調査士、公証人、人権擁護委員
- 相談予約
福島地区 福島地方務局 総務課 ☎024-534-1983
いわき地区 福島地方務局 いわき支局 ☎0246-23-1651

Jヴィレッジ再始動



サッカーのナショナルトレーニングセンター「Jヴィレッジ」が7月28日に再始動しました。メインスタジアムや天然芝、人工芝ピッチなどの利用が可能になったほか、107室を備えた新しい宿泊棟がオープンしました。今秋には全天候型練習場が供与開始となります。東日本大震災と東京電力福島第一原発事故からの復興に向けて歩むシンボルとして、新たな歴史を刻みます。

再始動に合わせ、メインスタジアムで記念式典が行われ、招待者約240人はじめ、一般県民ら約1000人が出席しました。ピッチの使い始めとなる「キックイン」ではJヴィレッジスポーツクラブの中学生らがパスを交わし、震災発生時刻の午後2時46分からサッカーU15県選抜とJヴィレッジスポーツクラブが記念試合を行いました。選手たちは国内最高水準の芝生の感触を確かめながらプレーしました。

感動と夢届けたい

遠藤町長は、「東京電力福島第一原発事故の収束拠点としての役割を終え、生まれ変わったJヴィレッジは、私たちにあって未来への希望になる。スポーツを通じ感動と夢を、未来を担う子どもたちへと届けたい。双葉地方が一丸となり復興に向けて力強く歩み、国内外に発信していく。皆さんとともに復興創生を成し遂げていきたい。」と挨拶しました。

日本代表専属シェフ西芳照さん お疲れ様でした！

西さんへインタビュー

- Q. 選手らの食事で気を配ったところは？
A. 常に炊きたての温かいご飯を食べもらえるように炊きあがりの時間を調整していました。
- Q. 選手に評判の高かった料理は？
A. 長友選手の REQUEST で生レモンジュースを提供したところ、疲労回復に効果があるクエン酸が摂取できると、選手たちに大人気でした。
- Q. Jヴィレッジ再開にあたり一言
A. 全国の子どもたちが聖地としてJヴィレッジに憧れを持っていて、今後たくさんの子どもたちがJヴィレッジに来てくれることを期待しています。
- Q. 今後の目標・抱負は？
A. 今後、オリンピックの合宿地としてJヴィレッジが利用されます。カタール大会に向けて代表選手がJヴィレッジを利用していただければ嬉しいです。1番の目標は選手とともにカタールの地でW杯に出場することです。



W杯のエピソードを笑顔で話す西さん



寄贈されたサイン入りユニフォーム

サッカーのW杯ロシア大会に日本代表専属シェフとして同行した西芳照さんが7月10日に広野町役場を訪れ、地元への応援に感謝を込めて、代表メンバー全員のサイン入りユニフォームを寄贈されました。

西さんは、「応援ありがとうございました。事前合宿には広野町の コメを持参し、選手たちは『おいしい』と喜んでいました。今後は4年後のカタール大会を目指していきたいと思えます。」と話しました。

西さんから寄贈されたサイン入りユニフォームは役場1階ロビーに展示しています。